

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団 平成 30 年度（第 43 期）事業報告

平成 29 年度 第 3 回理事会(平成 30 年 2 月 6 日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 平成 30 年度(第 43 回)研究奨励金等の交付 (定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号)

(1) 研究奨励金

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 20件程度
- ・ 交付金額 20件 各200万円
- ・ 募集期間 平成30年6月18日～8月31日
- ・ 応募件数 100件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 平成30年5月16日
- ・ 選考委員による申請書の評価 平成30年9月3日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成30年10月29日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 平成30年度第2回理事会にて決定 平成30年11月20日
- ・ 決定通知完了 平成30年11月26日
- ・ 交付対象件数 20件、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 4,000万円（各200万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 平成31年1月24日
- ・ 交付完了 平成31年1月25日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

- ・ 募集人数（推薦） 2名以内
- ・ 交付金額 2件 各 350万円/年、原則2年間交付
- ・ 推薦期間 平成30年6月18日～8月31日
- ・ 推薦件数 7件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（推薦方法等の審議） 平成30年5月16日
- ・ 選考委員による申請書の評価 平成30年9月3日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成30年10月29日
- ・ 交付対象者候補の面接実施 平成30年11月6日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 平成30年度第2回理事会にて決定 平成30年11月20日
- ・ 決定通知完了 平成30年11月26日
- ・ 交付対象者 2名、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 700万円（各350万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 平成30年12月11日
- ・ 交付完了 平成31年1月25日

◆平成 29 年度交付対象者への継続交付

- ・ 交付対象者数及び金額 2名、各350万円

2. 臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款 第4条第1項第1号、第3号）

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次の通り交付した。

(1) 第29回(平成30年度)臨床薬理研究振興財団賞

◆募集内容

・ 募集件数	学術奨励賞	1件
	学術論文賞	3件
・ 募集期間	平成29年12月15日～平成30年1月31日	
・ 応募件数	学術奨励賞	7件
	学術論文賞	18件

◆選考経過

・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	平成29年12月8日
・ 選考委員による申請書の評価	平成30年1月17日～3月23日
・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	平成30年4月1日

◆交付対象者の決定、授与式及び交付

・ 日本臨床薬理学会理事会にて決定（書面）	平成30年4月6日
・ 平成30年度第1回理事会にて承認	平成30年5月11日
・ 交付対象件数	4件、附属明細書-2に掲載
・ 交付金額	学術奨励賞 1件 300万円 学術論文賞 3件 150万円（各50万円）
・ 授与式（第18回国際薬理学・臨床薬理学会議（WCP2018, 京都））	平成30年7月2日
・ 交付完了	平成30年7月13日

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第4条第1項第5号）

(1) No. 39の編集・発刊

平成30年4月1日に編集会議を開催し、次の通り実施した。

- ・ 掲載論文 附属明細書-3に掲載

研究奨励金交付論文（平成27年度）	19編
海外留学助成金報告	1編
計	20編

- ・ 発刊日 平成30年6月20日

・ 配布先	大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長など	85冊
	大学薬学部長、薬科大学長、大学研究所長など	122冊
	大学歯学部長	27冊
	大学医学系、薬学系主要講座など	629冊
	附属病院長その他主要病院長	348冊
	財団役員、評議員、選考委員 他	68冊
	交付者	90冊
	図書館	54冊
	その他助成財団、会社関係他	127冊
	計	1,550冊

(2) No. 40の発刊準備

編集会議（平成 31 年 3 月 30 日）を開催し、掲載論文を検討した。

・掲載論文

研究奨励金交付論文（平成 28 年度）	20 編
研究奨励金交付論文（平成 27 年度）	2 編
海外留学助成金報告	3 編
計	25 編

・発刊予定年月

2019年6月

4. 研究報告会の開催（定款 第 4 条第 1 項第 5 号）

臨床薬理研究振興財団研究大賞（以下「研究大賞」という。）の受賞者等による第 11 回臨床薬理研究振興財団研究報告会（以下「研究報告会」という。）を次の通り実施した。

- ・日 時：平成 30 年 11 月 20 日（火）15 時 30 分～19 時 20 分
- ・場 所：経団連会館（東京都千代田区大手町 1 丁目 3-2）
- ・参加者：96 名
- ・プログラム：附属明細書-4 に掲載

〈第 1 部〉 研究大賞表彰式

挨拶	理事長	廣川 和憲
選考経過報告	編集委員	藤村 昭夫
表彰式	理事長	廣川 和憲

〈第 2 部〉 研究報告会 座長

理事	大内 尉義
理事	川合 眞一

演者	研究大賞受賞者	5 名
	特別研究奨励金交付者	1 名
	海外留学修了者	2 名

閉会に当たって	評議員	御子柴 克彦
---------	-----	--------

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に平成 20 年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。本年度は、第 11 回研究大賞として、平成 27 年度研究奨励金交付論文 19 編の中から 5 編を編集会議（平成 30 年 4 月 1 日）において厳正に審査の上で選考した。

【特別研究奨励金】財団設立 40 周年記念事業の一環として、平成 27 年度から 29 年度までの 3 年間、研究奨励金（1 件 200 万円）交付者のうち、特に成果、及び臨床応用が期待できると評価された交付対象研究 1 件については研究奨励金と併せて特別研究奨励金（200 万円）、計 400 万円を交付した。そして、特別研究奨励金受給者は研究報告会にてその成果を報告している。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第4条第1項第4号）

第3回(平成30年度)臨床薬理学集中講座(以下「集中講座」という。)を平成30年8月3日～5日に出捐会社研修所 NEXUS HAYAMA で開講し、医師17名、薬剤師等24名、陪席者7名 合計48名が参加した。本集中講座の一環として、第3回日本臨床薬理学会 関東・甲信越地方会のプログラムの中で第2回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーを組み入れ、当財団主催にて、平成30年11月25日に開催し、受講修了者・講師等31名、学会参加者13名 合計44名が参加した。本集中講座は、若手医師・薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

- 1) 開催日：平成30年5月11日
議事：第3回集中講座の受講者決定、フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 2) 開催日：平成30年11月20日
議事：第3回集中講座実施報告、第4回(2019年度)集中講座計画
- 3) 開催日：平成31年2月6日
議事：第2回フォローアップ・セミナー開催報告、第4回集中講座の募集要項・募集方法等決定

臨床試験企画立案演習チーム会

- 開催日：平成30年6月4日、7月10日
議事：演習のテーマ検討、受講者の演習グループ班分け等

第3回(平成30年度)臨床薬理学集中講座のプログラム、及び講師：附属明細書-5に掲載
第2回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーの概要：附属明細書-5に掲載

6. 附属明細書

【附属明細書—1】

平成30年度（第43回）研究奨励金・海外留学助成金交付対象者

◆研究奨励金 20件（1件200万円交付）

（50音順 敬称略）

氏名	所属機関	研究テーマ
池本 竜則	愛知医科大学 整形外科学講座	慢性腰痛患者に対するオープンラベルプラセボ効果の解明
今井 利美	自治医科大学医学部 薬理学講座 臨床薬理学部門	心血管イベント発症予測因子の探索
小川 陽一	山梨大学医学部附属病院 皮膚科学講座	致死性重症薬疹の発症メカニズムの解明、早期診断法・新規治療の開発
影山 健	大阪市立大学医学部大学院 医学研究科	患者由来肝癌 PDX モデルと IVR 治療評価
神田 光郎	名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二	胃癌抗体医薬の開発研究
岸本 久直	東京薬科大学薬学部 薬物動態制御学教室	薬物吸収における mucin 分子の機能解明
小村 和正	大阪医科大学 泌尿生殖・ 発達医学講座 泌尿器科学教室	DNA 複製ストレスを利用した がん治療法確立
坂田(柳元) 麻実子	筑波大学 医学医療系 血液内科	T細胞リンパ腫の高頻度ゲノム異常に 対する治療薬の臨床開発
佐藤 和秀	名古屋大学高等研究院・大学院 医学系研究科 呼吸器内科学	光を用いた新しい小細胞肺癌制圧への 挑戦
座間味 義人	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 臨床薬理学分野	大規模医療情報データベースを 切り口とした臨床応用研究
鈴木 陽介	明治薬科大学 薬剤情報解析学研究室	OATP1B 活性の個人差の要因解析
滝口 慎一郎	福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	愛着障害へのオキシトシン点鼻効果の 探求
田中 和樹	浜松医科大学医学部附属病院 第二内科	カルボプラチンに伴う悪心・嘔吐に対する オランザピン併用療法の確立
中竹 利知	関西医科大学医学部 外科学講座	肝細胞癌に対するウイルス療法の 臨床応用研究
福土 将秀	旭川医科大学病院 薬剤部	PD-1 阻害薬の PK-PD/ADA の母集団解析
松井 基浩	東京都立小児総合医療センター	小児髄腔内播種に対する VP-16 脳室内 投与確立に向けた研究
山 佳織	北海道科学大学 薬学部薬学科	レビー小体型認知症の遺伝学的・生化学的 背景の解明
山田 忠明	京都府立医科大学大学院 呼吸器内科学	肺がん薬剤抵抗性に関わる新規診断法の 開発
山村 寿男	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学分野	肺高血圧症とイオンチャネル創薬
横山 雄太	慶應義塾大学薬学部 医療薬学部門	オシメルチニブの PK/PD/PGx に基づく 治療最適化

◆海外留学助成金 2件（1件350万円/年）

（50音順 敬称略）

氏名	所属機関	留学施設名（国名）	期間	研究テーマ
久保 智史	産業医科大学若松病院 リウマチ糖尿病内科	米国立衛生研究所 （アメリカ）	2年	クリニカルゲノミクスによる 免疫難病の臨床薬理学的研究
難波 北人	昭和大学 臨床薬理研究所	カロリンスカ研究所 （スウェーデン）	2年	腎不全患者での MIA 症候群をはじめと する特殊病態における薬物動態の検証

【附属明細書—2】

第 29 回（平成 30 年度）臨床薬理研究振興財団賞

（学術奨励賞 1 件: 300 万円、学術論文賞 3 件: 150 万円(各 50 万円)）

（敬称略）

	氏 名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル (掲載誌)
学術奨励賞 (研究奨励金： 300 万円)	内藤 隆文	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	抗体医薬の TDM の普及のためのヒト血 清中濃度測定の実験ワークフローの構築
学術論文賞 (副賞:各 50 万 円)	上田 幹子	大阪大学大学院薬学研究科 実践薬学教育研究センター 医療薬学教育研究ユニット	Pharmacokinetics of Loxoprofen and Cefcapene following a Single Combined Dose in Healthy Volunteers before, during or Immediately after 120-min Enteral Tube Feeding of 400 mL Ensure Liquid®. <i>臨床薬理, 48 (6), 185-193.</i>
	藤枝 聡子	北海道大学病院 産婦人科	Elimination of Ritodrine in Mothers Pregnant with Twins and Their Neonatal Twins. <i>臨床薬理, 48 (3), 91-94.</i>
	辻 泰弘	富山大学大学院薬学研究部 医療薬学研究室	Population pharmacokinetics and pharmacodynamics of linezolid-induced thrombocytopenia in hospitalized patients. <i>British Journal of Clinical Pharmacology</i> <i>83(8):1758-1772, 2017.</i>

【附属明細書—3】
研究報告集「臨床薬理の進歩」No.39 掲載論文

平成 27 年度 研究奨励金交付論文 19 編

(五十音順 敬称略)

氏名	所属機関	論文タイトル
赤嶺 由美子	秋田大学医学部附属病院 薬剤部	テルミサルタンの PPAR- γ 活性化作用の評価 -血中の可溶性終末糖化産物受容体濃度を指標として-
安藤 智暁	理化学研究所 IMS 順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター	小児におけるトリクロホスの投与量の最適化
池田 啓	千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科	心房細動患者におけるアピキサバンの血中濃度に及ぼす 薬物動態関連遺伝子多型の影響
和泉 大輔	新潟大学医歯学総合研究科 循環器内科学	統合失調症における抗精神病薬のドパミンD ₂ 受容体遮断 と症状変動
伊藤 直樹	帝京大学 医学部附属病院 小児科 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター	認知症治療薬開発のための画像バイオマーカーの 臨床評価
岩尾 岳洋	名古屋市立大学 大学院 薬学研究科 臨床薬学分野	抗がん薬イマチニブによる体液貯留と尿中 Na ⁺ 排泄機構 との関連解明
上田 重人	埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科	肺動脈性肺高血圧症に対するアデノ随伴ウイルスベクター(AAV) を用いたプロスタサイクリン合成酵素 (PGIS) 遺伝子導入 治療法の開発
内野 智信	静岡県立大学薬学部 臨床薬剤学分野	長寿遺伝子 SIRT1 活性化による筋ジストロフィーの治療
大場 雄介	北海道大学大学院医学研究院 細胞生理学教室	薬剤性間質性肺炎の責任遺伝子探索と関連性解析
小野 正博	京都大学大学院薬学研究科	プラチナ併用療法に伴う重篤な副作用を予測する バイオマーカーの探索的研究
楠原 洋之	東京大学大学院 薬学系研究科 分子薬物動態学教室	小児における肺高血圧治療薬の薬物動態・薬力学解析
小林 大介	九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野	慢性血液透析患者における <i>Helicobacter pylori</i> 除菌療法の最適化の検討
林 秀樹	岐阜薬科大学 実践社会薬学研究室 成人精神保健研究部	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の発症機構の解明と 予防・治療薬の開発
人見 祐基	東京大学大学院 医学系研究科 人類遺伝学分野	酵素サブタイプによる新しい原発性アルドステロン症の 病理鑑別診断
堀 弘明	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所	日本人における microRNA-SNP 解析：分子標的薬の 個別化療法最適化に向けて
牧原 玲子	国立がん研究センター中央病院 薬剤部	生体イメージングによる抗血小板薬治療モニタリング 手法の確立
三坂 眞元	福島県立医科大学 医学部 薬理学講座 東北大学大学院薬学研究科病態分子薬学分野	乳癌に対するエベロリムスの PK/PD と適正使用法
山口 浩明	東北大学病院 薬剤部 東北大学大学院薬学研究科病態分子薬学分野	抗甲状腺薬誘発性無顆粒球症の予防的診断を目指した HLA 領域のリシーケンス
山本 吉章	国立病院機構 静岡てんかん神経医療センター 臨床研究部	Dravet 症候群を対象としたスチリペントールの 相互作用・薬物動態解析

平成 25 年度 海外留学助成金報告 1 編

藤倉 知行	浜松医科大学医学部 内科学第一	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン 留学報告 (ドイツ)
-------	-----------------	-------------------------------------

第11回研究報告会

日 時：平成30年11月20日（火） 15:30～19:20

場 所：経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

第1部 臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式（15:30～16:00）

挨拶	理事長	廣川 和憲
選考経過報告	自治医科大学 名誉教授（編集委員）	藤村 昭夫 先生
表彰式		

第2部 研究報告会（16:10～18:10）

【研究報告】

座長	虎の門病院 院長（理事）	大内 尉義 先生
	東邦大学医学部炎症・疼痛制御学講座 教授（理事）	川合 眞一 先生

食物アレルギーのHRFを標的・指標とした治療法の開発

理化学研究所 IMS	安藤 智暁 先生
順天堂大学大学院 医学研究科 アトピー疾患研究センター	

アルツハイマー病における α を標的としたSPECTイメージングプローブの開発

京都大学大学院薬学研究科	小野 正博 先生
--------------	----------

内在性化合物を用いたOATP1Bを介した薬物相互作用ポテンシャル評価法の開発

東京大学大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	楠原 洋之 先生
-------------------------	----------

薬物動態および毒性評価系としての利用に向けたヒトiPS細胞由来腸管細胞の作製

名古屋市立大学大学院薬学研究科 臨床薬学分野	岩尾 岳洋 先生
------------------------	----------

直接型経口抗凝固薬のトラフ期・ピーク期・血管損傷時の効果

新潟大学医歯学総合研究科 循環器内科学	和泉 大輔 先生
---------------------	----------

肺移植患者における個別化薬物療法（特別研究奨励金交付研究報告）

東北大学病院 薬剤部	山口 浩明 先生
東北大学大学院薬学研究科病態分子薬学分野	

【留学報告】

クリーブランドクリニック 留学報告（アメリカ）

神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科	北井 豪 先生
------------------------	---------

カリフォルニア大学サンディエゴ校 Moores がんセンター 留学報告（アメリカ）

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 膠原病・リウマチ内科	細矢 匡 先生
------------------------------	---------

【閉会にあたって】 理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー（評議員） 御子柴 克彦 先生

第3部 情報交換会（18:20～19:20）

出捐者代表挨拶	第一三共株式会社 代表取締役社長	眞鍋 淳 殿
---------	------------------	--------

【附属明細書-5】

第3回(平成30年度)臨床薬理学集中講座のプログラム

時間割	8/3(金)	8/4(土)	8/5(日)
8:00 ~ 9:40	10:00 集合 10:30 まで ガイダンス	臨床試験企画立案 演習(発表・討議)	薬理遺伝学
10:00 ~ 11:40	10:30-12:00 臨床薬理学とは		9:50~11:30 バイオマーカー
12:40 ~ 14:20	臨床試験デザイン	臨床薬物動態と 薬物投与設計	12:10~13:50 医薬品開発・ レギュラトリーサイエンス
14:40 ~ 16:20	研究倫理	医薬品有害反応	閉講式 14:30 解散
16:40 ~ 18:20	生物統計学	薬物相互作用	
19:15 ~ 21:30	臨床試験企画立案 演習		

第3回(平成30年度)臨床薬理学集中講座の講師

担当講座	氏名	所属
臨床薬理学とは	渡邊 裕司	浜松医科大学 理事・副学長 国立国際医療研究センター 臨床研究センター長 日本臨床薬理学会 理事長
臨床試験デザイン	折笠 秀樹	富山大学 バイオ統計学・臨床疫学 教授
研究倫理	田代 志門	国立がん研究センター 生命倫理研究室 室長
生物統計学	野間 久史	統計数理研究所 データ科学研究系 准教授
臨床試験企画立案演習	中野 重行	大分大学 名誉教授
	小林 真一	昭和大学 臨床薬理研究所 所長
	松本 直樹	聖マリアンナ医科大学 薬理学 教授
臨床薬物動態学と薬物投与設計	越前 宏俊	明治薬科大学 薬物治療学 教授
医薬品有害反応	鶴岡 秀一	日本医科大学 腎臓内科 教授
薬物相互作用	楠原 洋之	東京大学大学院薬学研究科 分子薬物動態学教室 教授
薬理遺伝学	家入 一郎	九州大学 大学院薬学研究院 薬物動態学分野 教授
バイオマーカー	藤村 昭夫	自治医科大学 名誉教授
医薬品開発・レギュラトリーサイエンス	佐藤 淳子	医薬品医療機器総合機構 国際協力室 室長

第2回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー(平成30年11月25日、横浜)

座長：浜松医科大学 准教授

乾 直輝 先生

- ・セッション1 (臨床薬理研究の領域・種類や進め方などの経験談の紹介)

パネリスト：大分大学医学部臨床薬理講座

大谷 直由 先生

日本医療研究開発機構

神山 直也 先生

昭和大学医学部 薬理学講座 臨床薬理学部門

三邊 武彦 先生

- ・セッション2 (臨床薬理共同研究推進体制の構築に関する意見交換)

パネリスト：徳島大学病院 臨床試験管理センター

武智 研志 先生

国立長寿医療研究センター

鈴木 啓介 先生

昭和大学医学部 薬理学講座 臨床薬理学部門

肥田 典子 先生

平成 30 年度のあゆみ

- 平成 30 年 4 月 1 日 第 29 回(平成 30 年度)財団賞 第 2 回選考委員会開催(日本臨床薬理学会事務所)
1 日 編集会議開催(丸の内ホテル)
16 日 決算資料監査実施
20 日 第一三共株式会社から寄附金 1 億円受領
5 月 2 日 第 3 回臨床薬理学集中講座募集締切り
8 日 決算監査実施
11 日 第 3 回臨床薬理学集中講座第 1 回実行委員会開催(経団連会館)
11 日 平成 30 年度 第 1 回理事会開催(経団連会館)
16 日 平成 30 年度 第 1 回選考委員会開催(経団連会館)
6 月 4 日 臨床試験企画立案演習チーム会
5 日 平成 30 年度 定時評議員会開催(経団連会館)
15 日 平成 29 年度の事業報告等に係る提出書類を内閣府に提出
18 日 研究奨励金募集案内及び募集要項発送(713 通)
18 日 海外留学助成金の推薦要項発送(48 通)
18 日 第 11 回研究大賞についてプレスリリース
20 日 研究報告集「臨床薬理の進歩」No.39 発刊
7 月 2 日 第 29 回(平成 30 年度)財団賞授与 (WCP2018、京都)
10 日 臨床試験企画立案演習チーム会
13 日 財団賞研究奨励金等交付完了
17 日 代表理事及び評議員変更登記
23 日 代表理事及び評議員変更届出書を内閣府に届出
8 月 3~5 日 第 3 回(平成 30 年度)臨床薬理学集中講座開講(NEXUS HAYAMA)
23 日 監事監査 (4-7 月業務執行状況監査)
31 日 研究奨励金及び海外留学助成金等募集締切り
9 月 3 日 選考委員に申請書の評価依頼
10 月 1 日 選考委員による申請書の評価終了
24 日 監事監査 (8-9 月業務執行状況監査、事業及び決算に関する中間監査)
29 日 平成 30 年度 第 2 回選考委員会開催(経団連会館)
11 月 6 日 海外留学助成金交付対象者候補の面接実施(財団事務所)
20 日 第 3 回臨床薬理学集中講座第 2 回実行委員会開催(経団連会館)
20 日 平成 30 年度 第 2 回理事会開催(経団連会館)
20 日 第 11 回研究報告会開催(経団連会館)
22 日 応募者宛採否通知の発送
22 日 理事・評議員・選考委員等宛交付対象者決定通知の発送
25 日 第 2 回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー開催
26 日 大学・大病院宛交付対象者決定通知の発送
平成 31 年 1 月 17 日 監事監査 (10-12 月業務執行状況監査)
24 日 研究奨励金・海外留学助成金贈呈証書授与完了
25 日 研究奨励金・海外留学助成金交付完了
2 月 6 日 第 3 回臨床薬理学集中講座第 3 回実行委員会開催(経団連会館)
6 日 平成 30 年度 第 3 回理事会開催 (経団連会館)
3 月 14 日 2019 年度事業計画及び収支予算書を内閣府に提出
30 日 編集会議開催(経団連会館)